



第39回 全国育樹祭

特集 vol.4

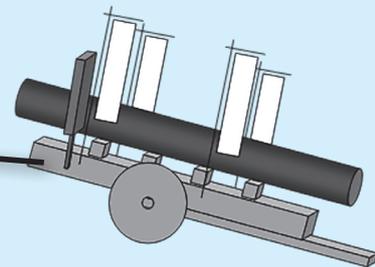
100年の森づくりリレー 引継式

【日時】 9月5日(土) 11:00~

【場所】 地域交流センター

県民の貴重な財産である森林を世代をつないで守り育てていくことの大切さを広めるため、県内で木曳きリレーを行っています。県内5地域でそれぞれ樹齢100年を超えるスギやヒノキの大木を伐採し、地域内の市町村をリレー形式でつないだ後、全国育樹祭の会場へと運びます。揖斐川町は西濃地域の各市町でリレーされた、関ヶ原町のスギを大野町から引き継ぎます。

いびがわ森の恵み感謝祭で町内をまわっている木曳車も到着するよ!



苗木のホームステイ

全国育樹祭で県外の緑の少年団に贈る苗木を県内の児童が育てる取り組みが始まり、揖斐川町では町の木であるケヤキを大和小学校が育てることになりました。6月18日(木)には苗木の引き渡し式が行われ、5本のけやきの苗木を受け取った児童たちは、全国育樹祭までの期間、大切に育てることを約束してくれました。



▲苗木の移し替えの様子

花フェスタ2015ぎふ 閉会式

6月21日(日)可児市花フェスタ記念公園で、37日間開催された「花フェスタ2015ぎふ」の閉会式に、地元の可児市と全国育樹祭の会場である揖斐川町が参加し、可児市春里小学校と谷汲小学校によるエール交換や、可児市長から揖斐川町長へ「成功の火」の引き継ぎが行われ、全国育樹祭にむけて協力していくことを誓いました。



▲バラの鉢植とプランターの交換

間伐材活用おもてなし事業

昨年10月にお手入れ会場から搬出したスギの木を利用して、全国育樹祭の式典会場などに設置するプランター作りが始まりました。県の「間伐材活用おもてなし事業」の一環として、町内の小学6年生が実施しているもので、みんなで協力しながら、一生懸命のこもったプランターを作りました。



▲プランター作成(小島小学校)